

**危険**

以下の注意事項を無視し取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負ったり死に至る危険性があります。このキットは、正確に確実に配線しないと走行中エンジンが停止し、ブレーキの利きが悪くなったりハンドルが重くなり、重大な事故を起こす可能性があります。必ずプロショップで配線を行ってください。アンロックした状態で車を離れると車両の盗難の可能性が極めて高くなります。

イグニッションキーを押している場合、機械的なハンドルロックが解除されているため、ロック中でも車両の盗難の可能性が通常車両より高くなります。盗難の危険が高い場所に駐車する場合は、キーシリンダーからキーを抜いてください。

重要同意事項:本キットが原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。

同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品してください。

ソニックスタートの使用にあたって(重要事項！！)

・本装置を使用する場合、必ずキーをイグニッションキーシリンダーに押し、エンジンオンの位置まで回してください。

・イージーエントリー機能(キーオフでステアリングが上昇)が付いている車両の場合、ACCオンでキー挿入線が有効になるようにリレーを使用してキー挿入線を有効にしてください。(詳細後述)

ソニックスタート基本キット製品構成

・コントローラー 1個 ・リモコン 2個 ・ヒューズ付き専用10ピン大ハーネス 1セット
 ・専用10ピン小ハーネス 1セット ・専用4ピン小ハーネス 1セット ・ダイオード 1本 ・標準サイレン 1個
 ・ACC用パワーリレー 1個 ・IG用パワーリレー 2個 ・スターター用パワーリレー 2個 (パワーリレー合計5個)
 ・ハザード接続モジュール 1セット ・ブルーLED(マウント付き) 1個

1. CN1 10ピン大カブラーの配線表(別紙、ソニックスタート用キーレス基本結線図参照)

ケーブル線色	説明と主な接続先
黒	ボディアース。
赤	常時12V。
茶	サイレンの赤に接続。
から	青、緑、紫、青/白、緑/白、紫/白の6本は別紙「キーレス基本結線図」参照。
灰	スターター用パワーリレーの30端子へ接続。

2. CN2 10ピン小カブラーの配線表(別紙、ソニックスタート基本結線図参照)

ケーブル線色	説明と主な接続先
茶	CN1 10ピン大カブラーの 黒線へ接続。(ボディアース)
赤	ACC用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子は常時12V。
黄	CN1 10ピン大カブラーの 黒線へ接続。(ボディアース)
緑	イグニッション用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子は常時12V。 スターター用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子はACCリレーの87a端子。
紫	付属LEDの黒線へ接続。LEDの赤線は常時12V。イモビキャンセラーの青へ。
灰	ソニックボイス、516U、外部スキャナー(DEI 629L)出力(-)。 ソニックボイスの青線、ボイスモジュール516Uの橙線へ接続。
白	L端子へ接続。(エンジン作動中12V)
黒	ブレーキ線へ接続。(ブレーキを踏んだ状態で12V)
直接出ている橙線	シフトがPポジションの線に接続。
注意事項	印の線は接続しなくても問題ありませんが、必ずテープ等で絶縁してください。

3. CN3 4ピン小カブラーの配線表(別紙、ソニックスタート基本結線図参照)

ケーブル線色	説明と主な接続先
青	後付スタートスイッチ(スイッチの片方はボディアース)
緑	付属のダイオードを通して車両のドア開閉スイッチ(ドア開放で0V(ボディアース))

4. ボタン操作(機能とアンサーバック)

リモコンボタンの種類	機能	ハザード	音	備考
ロックボタン	ロックします。	1回	1回	
アンロックボタン	アンロックします。	2回	2回	
サーチボタン	カーサーチ機能(ロケーター機能ともいいます。)30秒間ハザードが点滅します。このボタンでハザードを点滅させている間に他のボタンを押すと一時的に音を消すことができます。(サイレント機能)	点滅	-	途中スタート・ストップボタンを除く、いずれかのボタンを押しても止まりません。
エンジンスタート・ストップボタン	エンジンスタート・ストップができます。アンサーバックはロック中のみ行います。	-	始動時3回 停止時4回	1.5秒以内にダブルクリックで有効です。1回目と2回目の間隔は0.5秒以上必要。

5. エンジン始動方法の詳細説明

- ロック中、リモコンのスタート・ストップボタンを1.5秒以内にダブルクリックするとエンジンが始動します。3回アンサーバックします。万一エンジンが掛からない場合は、5回アンサーバックして知らせます。30分以内にアンロックしなければエンジンが停止し、ACC+イグニッションもオフになります。
- アンロック後、シフトがPポジションの位置で、ブレーキを踏んだ状態で(この状態でLEDが点滅 点灯します。)、後付スタートスイッチを押すか、リモコンのスタート・ストップボタンを1秒以上押す(以後、前記のいずれかの方法でボタンを押すことを“ボタンAを押す”と表現します。)とエンジンが始動します。
- アンロック後、ブレーキを踏まずに、ボタンAを押すとACCがオンになります。その状態で、ブレーキを踏まずに、ボタンAを押すとACC+イグニッションがオンになります。その状態で、ブレーキを踏まずに、ボタンAを押すとACC+イグニッションがオフになります。以後、これの繰り返しになります。どの状態からでも、シフトがPポジションの位置で、ブレーキを踏んだ状態で、ボタンAを押すとエンジンが始動します。エンジン停止中、イグニッションは、3分後に自動的にオフします。また、エンジン停止中、ACCまたはイグニッションがオンの状態でドアを開けると警告します。(お知らせサウンド。警告しないも設定可。)
セルモーターを回して5秒以内にエンジンがかからなければ、ACC+イグニッションもオフになります。

6. エンジン停止方法の詳細説明

- ロック中にエンジンが作動しているとき、リモコンのスタート・ストップボタンを1.5秒以内にダブルクリックするとエンジンが停止し、ACCとイグニッションがオフになります。
- アンロック中、エンジンが作動しているとき、シフトがPポジションの位置で、後付スタートスイッチを押すか、リモコンのスタート・ストップボタンを1秒以上押すとエンジンが停止し、イグニッションがオフになります。(ACCもオフになる設定も可能です。)ACCはドアを開けるとオフになります。

7. セキュリティの詳細説明

- ロック中に「ドアが開けられる」「後付スタートスイッチが押される」「ブレーキが踏まれる」(以後、異常事態)のいずれかで、30秒間サイレンが鳴り、ハザードが90秒間高速点滅します。(以後、発報状態)
- ロック中エンジンが作動しているときは、異常事態またはPポジションでなくなると、エンジンを停止し、ACC+イグニッションをオフにし、サイレンが30秒間鳴り、ハザードが90秒間高速点滅します。
- 発報状態のときにリモコンのいずれかのボタンを押すとサイレンが止まります。
- ロック中は、LEDが点滅し、セキュリティが作動していることを示します。
- ロック中バッテリーを外され、再度バッテリーを接続された場合、発報状態になります。
- 万一リモコンが壊れて、セキュリティが解除できなくなった場合、純正キーでドアを開け(サイレンが鳴ります。)、セキュリティ解除操作(後述)を行ってください。セキュリティが解除されエンジンをかけることができるようになります。

8. セキュリティ解除操作の詳細説明

- ドアを開め、後付スタートスイッチを設定した回数押します。(約1秒に1回のペースで押します。)
- ドアを開けます。
- ブレーキを踏んだ状態で、後付スタートスイッチを設定した回数押します。(約1秒に1回のペースで押します。)
- ブレーキを放します。
- 後付スタートスイッチを押した回数が両方正しければ、セキュリティが解除されます。
- 後付スタートスイッチを押す回数を間違えるとサイレンが30秒間鳴り、2分間セキュリティ解除操作はできません。
- ドアの操作とブレーキの操作はどちらが先でもかまいません。
- セキュリティ解除操作の後付スタートスイッチを押す回数設定は後述します。

9. 接続時の注意事項(重要事項！)

- 必ずドアを開けた状態で、最初に小カプラー2個を挿し、最後に大カプラーを挿してください。内部のコンピューターが学習しますので、1回リレーの音(アンサーバック)が鳴るまでお待ち下さい。その間、リモコン・内部スイッチ・後付スタートスイッチは操作しないで下さい。
- 内蔵のリレーでは、ACC電源やイグニッション電源を直接供給できませんので、必ず付属のパワーリレーをご使用下さい。

10. ジャンパー設定方法(コントローラーのケースを開けるとカプラーを下に見て、右上にジャンパーがあります。)

(1) 自動再ロック機能の設定方法(基板内部スイッチJ1で設定)

自動再ロック機能とは、アンロックボタンを押しても30秒以内にドアを開けなければ自動的に再ロックする機能です。

- コントローラーのすべてのカプラーを外し、ケースを開ける。
- J1の黒コネクター付けると本機能が有効になり、黒コネクター外すと本機能が無効になります。

(2) 自動アンロック機能の設定方法(基板内部スイッチJ2で設定)

自動アンロック機能とは、Pポジションにしたときにアンロックさせる機能で、純正車速ロック付き車両に便利です。

- コントローラーのすべてのカプラーを外し、ケースを開ける。
- J2の黒コネクター付けると本機能が有効になり、黒コネクター外すと本機能が無効になります。



黒コネクターを付けた状態



黒コネクターを外した状態

左の写真はJ1の例

11. 各種設定方法(本設定は、バッテリーを外しても保持されます。)

(1) 項目の設定方法

- アンロック状態で、ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを5秒以上押しと、LEDが点灯しサウンドが短く5回鳴り、設定モードになります。
- 後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から6回鳴り、それぞれの項目の回数サイレンが鳴ったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く鳴って、各設定モードになります。

設定項目	サウンド回数	詳細説明
セキュリティ解除操作(ドア)	1回	セキュリティ解除操作においてドアを開けて後付スタートスイッチを押す回数を設定します。設定範囲:1回~5回。
セキュリティ解除操作(ブレーキ)	2回	セキュリティ解除操作においてブレーキを踏んで後付スタートスイッチを押す回数を設定します。設定範囲:1回~5回。
お知らせサウンド	3回	ACCまたはイグニッションがオンのときにドアを開けると警告する、しないを設定します。
エンジンオフ後のACC動作	4回	エンジン作動中にスイッチでエンジンを停止したとき、ACCのオン、オフを設定します。
グロー時間設定	5回	イグニッションオンからスターターを始動するまでの時間を設定します。
サウンドアンサーバック	6回	ロック・アンロックしたときにサウンドアンサーバックする、しないを設定します。
スタートスイッチ有効時間設定	7回	アンロック後またはエンジン停止後、スタートスイッチを有効にする時間を設定します。

(2) 項目1(セキュリティ解除操作ドアモード)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から5回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は2回です。

(3) 項目2(セキュリティ解除操作ブレーキモード)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から5回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は3回です。

(4) 項目3(お知らせサウンド)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回(お知らせサウンド無効)または2回(有効)鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は有効です。

(5) 項目4(エンジンオフ後のACC動作)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回(ACCオフ)または2回(ACCオン)鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定はオンです。

(6) 項目5(グロー時間設定)の設定方法(ディーゼル車用の設定です。ガソリン車は設定不要です。)

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から6回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は0秒です。

1回:0秒	2回:1秒	3回:2秒	4回:3秒	5回:5秒	6回:10秒
-------	-------	-------	-------	-------	--------

(7) 項目6(サウンドアンサーバック)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回(サウンドアンサーバック無効)または2回(有効)鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は有効です。

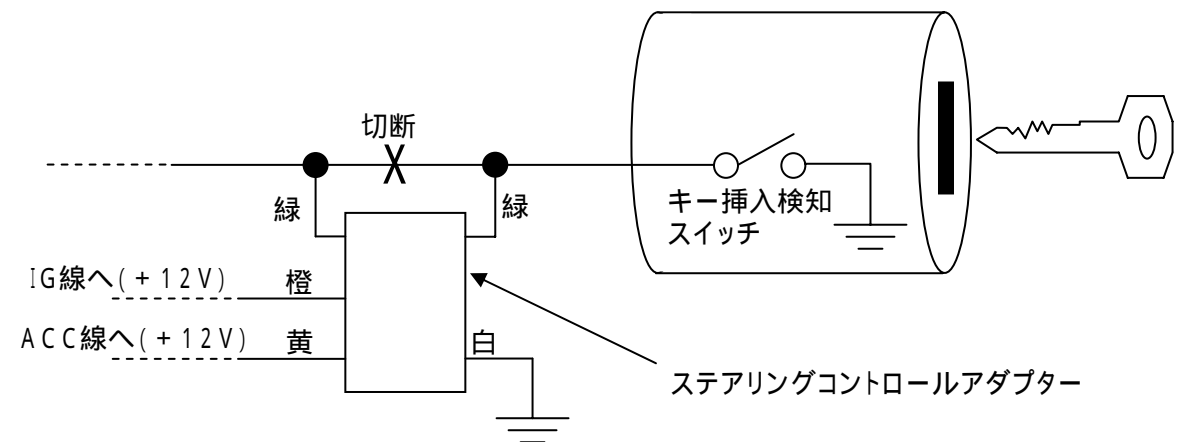
(8) 項目7(スタートスイッチ有効時間設定)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から6回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は無制限です。

1回:1分	2回:3分	3回:10分	4回:30分	5回:60分	6回:無制限
-------	-------	--------	--------	--------	--------

12. 参考

- 純正のキーをキーシリンダーから抜いたときにステアリングが上昇し、キーを挿入したときにステアリングが下降する車両(イージーエントリー機能)にソニックスタートを実装した場合、この機能が正しく動作しない場合があります。
- 別売のステアリングコントロールアダプターを使用することにより、正しく動作させることが可能になります。
- キー挿入検知線を切断し、ステアリングコントロールアダプターの緑と緑に接続してください。
- ステアリングコントロールアダプターの橙線をIG線に、黄線をACC線に、白をアースに接続してください。



イージーエントリー機能付車のキー挿入検知線の配線方法



基本結線図

配線するときは必ずすべてのコネクタを抜いて作業してください。

●は、接続を表す。

太線は、AWG14(断面積2mm²)以上の電線でできるだけ短く配線してください。

CN1 10ピン大コネクター

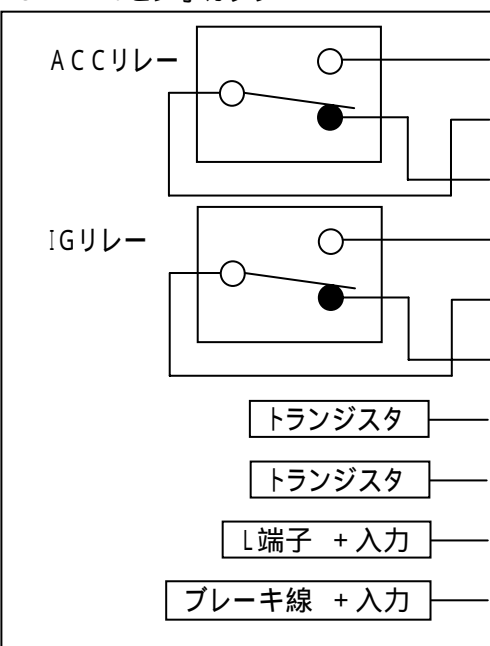
- 黒
- 赤
- 茶
- 青
- 緑
- 紫
- 青/白
- 緑/白
- 紫/白
- 灰

この6本の線は、キーレス基本結線図を参考にしてください。

注意:サイレンは、ボンネット内の熱がこもりにくく、水に濡れにくい場所にラッパを下向きにして、外れないように取り付けてください。

パワーリレーの87線は緑の場合もあります。

CN2 10ピン小コネクター



CN3 4ピン小コネクター

